



2017年7月5日

ブルーイノベーション株式会社

ドローンを活用した地方創生イベント(長野県伊那市)ノドローン・フェス in INA Valley 『ドローンによる鹿検知コンペティション』参加チームの募集開始について ～日本初(※)のドローン競技会で、ドローンによる有害鳥獣対策の技術・技能の向上を図る～

長野県伊那市(市長:白鳥孝)と一般社団法人日本UAS産業振興協議会(略称:JUIDA)(本部:東京都千代田区/理事長:鈴木真二)、ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都千代田区/代表取締役社長:熊田貴之)は、10月18日～21日に「ドローン・フェス in INA Valley」を開催いたします。

本イベントは、地域活性化及び地域課題の解決にドローンを活用していく指針を定めている伊那市において、そのキックオフの位置づけとなるものです。開催期間集中、「ドローン空撮体験会」や「最新技術デモンストレーション」、「鹿検知コンペティション」、「ローカルMICE(シンポジウム、ビジネスマッチング)」、「子ども対象のドローン体験ゲーム大会」などを実施いたします。



(イベントロゴマーク)

この度、**メインイベントである「鹿検知コンペティション」について、別紙実施要項により、参加チームの募集を開始することになりました。**

なお、本イベントの実施にあたり、日本最大のドローン業界団体であるJUIDAが全体的な監修を行い、ドローンのソリューションサービスに多くの実績を持つブルーイノベーションが企画・運営を担当いたします。

【「鹿検知コンペティション」の背景】

伊那市は、野生鳥獣による農林業被害の中でも特にニホンジカによる被害が大きく、その対応は喫緊の課題となっています。また、ニホンジカによる被害は、伊那市だけの問題ではなく日本全国の広範囲にわたっており、わが国の社会課題とも言える問題です。ドローンの活用によりニホンジカの検知が効率化されることは、全国的な有害鳥獣の被害防止対策の進化につながることで期待し、技術・技能の向上を目的として「鹿検知コンペティション」を実施することとなりました。

ドローンによる鹿検知コンペティションは、日本初(※)のイベントです。ドローンによる獣害対策を実現するにはまだ多くのハードルがありますが、こうしたドローンの技術・技能の確立化を促進することは、ドローン産業全体の活性化にもつながり、ひいては日本全体の産業振興にも寄与するものと考えています。(※)当社調べ

伊那市では、本事業で優秀な成果を出した団体に対して研究開発の支援を行い、ドローンによるニホンジカの効果的な被害対策の実現に向けて、本事業終了後も継続して先進的な取組を行う予定です。

【「鹿検知コンペティション」の概要】

1. 実施期間

2017年10月19日(木)～10月20日(金)の2日間

※表彰式・結果発表会を21日(土)に高遠さくらホテルにて実施

2. 実施会場

長野県伊那市 かれい い 鹿嶺高原 (長野県伊那市長谷非持3817-1)

3. 参加費

参加費無料 ※各参加チームに参加賞として12万円を支給いたします。

研究開発費をはじめとする準備運営費用に充てていただきますようお願いいたします。

4. 競技ルール

○鹿嶺高原における指定エリア(約700m×200m)に設置した鹿ダミーについて、ドローンを活用していかに正確に速く検知できるかを競っていただきます。

○ドローンの飛行方法は、原則、自律飛行にて行っていただきます。

○検知の方法や使用する機器は自由です。

(次ページに続く)



(現在試作中の鹿ダミー)

<鹿ダミーの特徴>

- 鹿ダミーは木製で、特定の色の布を被せ、周囲より高い温度を発する特徴を有しています。
- 鹿ダミーのサイズ・色は統一します。サイズや色情報、発熱方法、温度等の詳細データについては、事前に参加チームにお知らせいたします。

5. 募集チーム数

15チーム以内（先着順にて受付します／参加受付には一定の審査がございます）

※参加資格は、複数名のメンバーにより構成される団体のみとします。

6. 賞金

優勝（市長賞）	100万円
2位	50万円
3位	30万円
特別賞（新産業技術推進協議会長賞）	20万円

参加賞	（各参加チームに）12万円
-----	---------------

※特別賞はユニークな技術を活用して検知を試みたチームに対し贈賞いたします。

7. 詳細・申込方法

特設サイトを通じて告知します。

URL：<http://www.dronefes-inavalley.jp>

※上記「鹿検知コンペティション」概要は事前の予告なく変更させていただく場合がございます。変更点は都度特設サイトにてお知らせいたします。

参考：「ドローン・フェス in INA Valley」の全体概要

伊那市は新産業技術推進協議会を設置し、官民協働により、IoTを活用した地域課題解決及び事業創出の推進を図っています。今般、「ソフトウェアのシリコンバレー」、「ハードウェアの深セン」に続く「IoTのINA Valley」として、第三極のテクノロジー集積地を目指すことをコンセプトに、ドローンを活用した技術開発及び事業展開を目指す第一歩として、本イベントを実施することになりました。本イベントの全体概要は以下のとおりです。

※以下のコンテンツは全て予定の状況です。当日までに変更・中止となる場合がございます。

10月18日	「ドローン空撮体験会」 …ビジネスやホビーにおいて、ドローンに関心のある方々を対象に、実際にドローンを飛行させ空撮を体験する機会を提供するイベントです。	美和湖公園
	「最新技術デモンストレーション」 …ドローンに関する最新技術(研究中のもの含む)を実演するイベント。企業関係者に対し、今後のビジネス展開の参考にしてもらうことを目的としています。	
10月19日 ～20日	鹿検知コンペティション …より多くの皆様に本事業を知っていただくため、高原の麓の道の駅にて、コンペティションの様子をライブ配信するパブリックビューイングを実施することも計画中です。	鹿嶺高原
10月21日	講演会・シンポジウム …「ドローンの活用」をメインテーマに据え、企業経営者や学識経験者に登壇してもらい、今後の展望などについてセッションしていただきます。	高遠さくらホテル
	鹿検知コンペティション表彰式・成果発表会 …各チームより、どのようなことが上手いったり失敗したのかについて発表していただきます。	
	ビジネスマッチング …ビジネスにドローンを活用することを検討する伊那市の企業が、ドローン企業に無料で相談することのできるイベント。伊那商工会議所と連携して実施します。	
	子どもドローン体験イベント …親子を対象に、ゲームを通じてドローンを体験し、楽しんでもらうイベントです。	

◆主催：伊那市

◆全体監修：一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 ◆企画運営：ブルーイノベーション株式会社

以上

【プレス問い合わせ先】ブルーイノベーション株式会社 担当：北川祐介

TEL：03(3293)8801 / Mobile：050(3757)3850

E-mail：kitagawa@blue-i.co.jp